

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業発表会 ～ さんフェア山口2018 ～

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定校で学ぶ生徒たちが、
専門高校の先進的な卓越した取組や学習の成果等について発表を行います！



農業



工業



商業



水産



家庭



看護



情報



福祉

2018年10月20日(土)

※ポスターは20・21日 両日展示

時間 12:30～16:30

場所 維新百年記念公園 スポーツ文化センター 視聴覚室

12:30～12:55

受付・ポスター展示説明

13:10～14:10

- ① 埼玉県立常盤高等学校
- ② 福岡県立福岡農業高等学校
- ③ 秋田県立大曲農業高等学校
- ④ 群馬県立勢多農林高等学校

14:15～15:15

- ⑤ 熊本県立南稜高等学校
- ⑥ 福岡県立香椎高等学校
- ⑦ 長野県立諏訪実業高等学校
- ⑧ 兵庫県立神戸商業高等学校

15:20～16:20

- ⑨ 愛知県立三谷水産高等学校
- ⑩ 京都府立京都すばる高等学校
- ⑪ 岐阜県立岐阜工業高等学校
- ⑫ 愛媛県立今治工業高等学校



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

--- 目 次 ---

●第28回全国産業教育フェア山口大会

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業発表会 1

●発表会次第 3

●発表校説明資料

◇埼玉県立常盤高等学校（看護）	10
◇福岡県立福岡農業高等学校（農業）	13
◇秋田県立大曲農業高等学校（農業）	16
◇群馬県立勢多農林高等学校（農業）	19
◇熊本県立南稜高等学校（農業）	22
◇福岡県立香椎高等学校（家庭）	25
◇長野県立諏訪実業高等学校（商業・家庭）	28
◇兵庫県立神戸商業高等学校（商業）	31
◇愛知県立三谷水産高等学校（水産）	34
◇京都府立京都すばる高等学校（情報）	37
◇岐阜県立岐阜工業高等学校（工業）	40
◇愛媛県立今治工業高等学校（工業）	43

第28回全国産業教育フェア山口大会 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業等発表会

1 概要

「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」事業の研究指定校の生徒による実践内容や事業を通じて学んだ成果等についての発表とポスター展示を行う。

2 発表・展示数 参加校一覧参照

研究指定3年目の10校と5年目の2校の生徒が発表を行う。あわせて、23校(研究指定2年目10校、3年目10校、4年目1校、5年目2校)によるポスター展示を行う。

3 日程

(1) 発表 平成30年10月20日(土) 13:00~16:30
12:30~12:55 観客入場・受付、ポスター展示説明
13:00~13:10 開会・挨拶
13:10~14:10 発表
14:10~14:15 休憩
14:15~15:15 発表
15:15~15:20 休憩
15:20~16:20 発表
16:20~16:30 講評・閉会

(2) ポスター展示 平成30年10月20日(土) 10:00~16:30
10月21日(日) 9:30~15:30

4 会場

(1) 発表 維新百年記念公園 スポーツ文化センター 視聴覚室
(2) ポスター展示 維新百年記念公園 スポーツ文化センター エントランス

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業発表会

参加校一覧

	都道府県	設置種別	学校名	実施学科	指定年度	発表予定時間	ポスター展示
1	埼玉県	公立	埼玉県立常盤高等学校	看護	26	①13:10~13:25	○
2	福岡県	公立	福岡県立福岡農業高等学校	農業	26	②13:25~13:40	○
3	秋田県	公立	秋田県立大曲農業高等学校	農業	28	③13:40~13:55	○
4	群馬県	公立	群馬県立勢多農林高等学校	農業	28	④13:55~14:10	○
5	長野県	公立	長野県諏訪実業高等学校	商業・家庭	28	⑦14:45~15:00	○
6	岐阜県	公立	岐阜県立岐阜工業高等学校	工業	28	⑪15:50~16:05	○
7	愛知県	公立	愛知県立三谷水産高等学校	水産	28	⑨15:20~15:35	○
8	京都府	公立	京都府立京都すばる高等学校	情報	28	⑩15:35~15:50	○
9	兵庫県	公立	兵庫県立神戸商業高等学校	商業	28	⑧15:00~15:15	○
10	愛媛県	公立	愛媛県立今治工業高等学校	工業	28	⑫16:05~16:20	○
11	福岡県	公立	福岡県立香椎高等学校	家庭	28	⑥14:30~14:45	○
12	熊本県	公立	熊本県立南稜高等学校	農業	28	⑤14:15~14:30	○
13	大分県	私立	昭和学園高等学校	看護	27	—	○
14	札幌市	公立	市立札幌啓北商業高等学校	商業	29	—	○
15	福島県	公立	福島県立小高産業技術高等学校	工業・商業	29	—	○
16	東京都	公立	東京都立新宿山吹高等学校	情報	29	—	○
17	新潟県	公立	新潟県立加茂農林高等学校	農業	29	—	○
18	新潟県	公立	新潟県立新潟工業高等学校	工業	29	—	○
19	山梨県	公立	山梨県立甲府工業高等学校	工業	29	—	○
20	三重県	公立	三重県立相可高等学校	家庭	29	—	○
21	滋賀県	公立	滋賀県立八幡商業高等学校	商業	29	—	○
22	愛媛県	公立	愛媛県立宇和島水産高等学校	水産	29	—	○
23	宮崎県	公立	宮崎県立高鍋農業高等学校	農業	29	—	○

発表会次第

司 会 山口県立長府高等学校 3年 池 本 愛 莉
山口県立長府高等学校 3年 金 子 美 咲

(1) 開会行事

ア 開会のことば

山口県立長府高等学校 3年 池 本 愛 莉

イ あいさつ

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室 産業教育調査官 堀 内 昭 彦

山口県教育庁副教育長 繁 吉 健 志

(2) 発表

(3) 閉会行事

ア 講評 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール企画評価会議委員
岐阜女子大学文化創造学部・大学院教授 服 部 晃

イ 閉会のことば

山口県立長府高等学校 3年 金 子 美 咲

プログラム（発表順）

No	学科	発表テーマ	生徒名	校名
1	看護	キャリアビジョン実現プロジェクト	澤田 みか 佐藤 眞衣	埼玉県立 常盤高等学校
2	農業	都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成	仲摩 千鶴 竹林 美貴	福岡県立 福岡農業高等学校
3	農業	DAINOプロジェクトによる農業と地域産業の創造	高橋 佑誠 鈴木 雅子	秋田県立 大曲農業高等学校
4	農業	「課題解決実践力」を育むプロジェクト学習と地域連携活動等の取組	会沢 飛翼 天沼 千華 今井しずく 柴崎 芽依	群馬県立 勢多農林高等学校
5	農業	地域を担う生命総合産業（Total Life Industry）クリエイターを目指して	吉村菜々香 税所 大翔 落合 巨旭	熊本県立 南陵高等学校
6	家庭	Going to the infinity！	岡崎 美咲 元永 結菜 正野 結愛 福田 彩華 松野下由衣 山口 姫華	福岡県立 香椎高等学校
7	商業 家庭	地域の伝統文化・産業をビジネスに結び付ける	小松 桃華 福山 日菜 川上芽亜梨	長野県 諏訪実業高等学校
8	商業	『貿易人KOB E』プロジェクト	上本 美空 大川 壽奈 辻 清華 横倉 和奏	兵庫県立 神戸商業高等学校
9	水産	グローバルな社会に対応できる水産・海洋スペシャリストの育成	山崎 太雅 関 祐輝 竹内 友美	愛知県立 三谷水産高等学校
10	情報	「将来の情報セキュリティ人材」になることを目指して	神木 賢嗣 亀井 宜義	京都府立 京都すばる高等学校
11	工業	We are Aerospace Technologists！	角田 海斗 小寺 葵 島部 竜人 祖父江勇斗 眞鍋 大輔	岐阜県立 岐阜工業高等学校
12	工業	グローバル社会を担う次世代のスペシャリストを目指して	白川 光志 村上 竜斗	愛媛県立 今治工業高等学校

発表要旨

1 キャリアビジョン実現プロジェクト

～生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力の獲得を目指した5年間の取組～

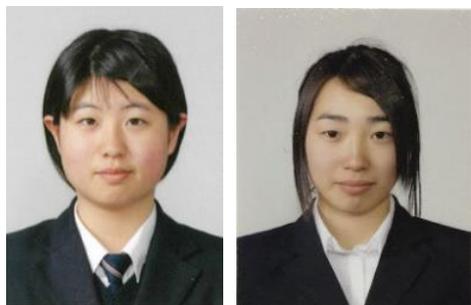


埼玉県立常盤高等学校 専攻科2年 澤田 みか
専攻科2年 佐藤 真衣

常盤高校のSPHでは、「生涯学び続ける力」を身につけた看護師の育成を目指して、高校1年生からポートフォリオを作成し、段階的にプロジェクト学習を行ってきました。キャリアビジョンを見すえた5年間の取組について報告します。

2 都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成

～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～



福岡県立福岡農業高等学校 3年 仲摩 千鶴
専攻科2年 竹林 美貴

本科と専攻科が連携した5年間の都市型園芸に関する経営感覚を持ったアグリスペシャリストを育成する中で、生徒・学生が農業に対する考え方や身についた力の変容についての成果と課題を発表します。

3 DAINOプロジェクトによる農業と地域産業の創造
 ~ 実践的技術・技能・経営力を身に付けた地域創生を担う人材育成プログラムの研究 ~



秋田県立大曲農業高等学校 3年 高橋 佑誠
 2年 鈴木 雅子

農業に付加価値を生み出すために、6次産業を推進する人材の育成と豊かな農山村資源をグリーンツーリズムなどと結び付け、その活性化のために活躍できる人材の育成に向けた学習プログラムの開発を行った。

4 「課題解決実践力」を育むプロジェクト学習と地域連携活動等の取組



群馬県立勢多農林高等学校 3年 会沢 飛翼
 3年 天沼 千華
 3年 今井しずく
 3年 柴崎 芽依

本校のSPH事業では、「課題解決実践力」を備えた人材育成を目指しています。私たちが学習している「農業と環境」や学校設定科目「地域連携」「地域連携」におけるプロジェクト学習、地域連携活動等の取組を報告します。

5 地域を担う生命総合産業（Total Life Industry）クリエイターを目指して



熊本県立南稜高等学校 3年 吉村菜々香
 3年 税所 大翔
 3年 落合 巨旭

地域を担う生命総合産業クリエイターを目指し、「農・食・和・健」の分野で3年間学習してきました。私たちが何をどのように学び、どのような産業で地域を創出していきたいのか報告します。

6 Going to the infinity! ~ 香椎から、世界へ、未来へ! ~



福岡県立香椎高等学校

2年	岡崎	美咲
2年	元永	結菜
3年	正野	結愛
3年	福田	彩華
3年	松野下由衣	
3年	山口	姫華

世界のファッション界で成功するために、ファッションに関する英語力を身に付けるとともに、自分独自のものさしを築き上げ、世界を感じながら、福岡発ファッションイベント企画・運営実習を行っています。

7 地域の伝統文化・産業をビジネスに結び付ける



長野県諏訪実業高等学校

3年	小松	桃華
3年	福山	日菜
3年	川上芽亜梨	

伝統文化・産業の「価値」を再発見し、文化とビジネスのバランスをとりながら、現代に受け入れられる商品・サービスとして成立させる力を身に付けるために、商業と服飾の学科を超えて研究してきた取組みを発表する。

8 『貿易人KOB E』プロジェクト

~ 世界を相手にたくましく生きるグローバル人材の育成 ~



兵庫県立神戸商業高等学校

3年	上本	美空
3年	大川	壽奈
3年	辻	清華
3年	横倉	和奏

貿易実務に必要な知識・技能の習得、英会話への苦手意識の改善、生徒が開発した商品の輸出・販売など実践的・体験的な学習を行った。交渉力や統率力、責任感、向上心を高め、神戸の活性化に寄与する人材を目指した。

9 グローカルな社会に対応できる水産・海洋スペシャリストの育成

～各学科が取り組む最先端の研究を通じた人材育成～



愛知県立三谷水産高等学校

3年 山崎 太雅

3年 関 祐輝

1年 竹内 友美

グローバルな社会に対応できる水産・海洋スペシャリストの育成を行うために、各学科から研究テーマを設定しました。高大連携、産学官連携、地域企業との協働による取り組みを紹介し、その成果と今後の課題について発表を行います。

10 「将来の情報セキュリティ人材」になることを目指して



京都府立京都すばる高等学校

3年 神木 賢嗣

3年 亀井 宜義

平成28年度SPH指定を受け「将来の情報セキュリティ人材」として活躍できるように学習しています。今まで取り組んだこと、これから取り組んでいくことについて紹介をします。

11 We are Aerospace Technologists !



岐阜県立岐阜工業高等学校

3年 角田 海斗

3年 小寺 葵

3年 島部 竜人

3年 祖父江勇斗

3年 眞鍋 大輔

本校では「航空宇宙産業」「情報通信産業」「イノベーションの推進」「地域との連携」をキーワードに、将来を担う生徒の育成を研究してきました。今回は、三年間の学習が培った航空宇宙産業人材が、いかにして育成されたかを発表します。

12 グローバル社会を担う次世代のスペシャリストを目指して
 ~ 日本一の海事都市今治における地学地就による人材育成 ~



愛媛県立今治工業高等学校 3年 白川 光志
 3年 村上 竜斗

地元造船会社や船用工業等との連携の下で実施した「確かな知識・実践的な技能」を身に付ける取組、大学や研究機関等との連携の下で実施した専門分野の「高度な技術」を身に付ける取組の活動成果について発表します。

ポスター・展示のみ参加校

No	都道府県	学 校 名	実施学科	指定年度
1	大分県	昭和学園高等学校	看護	27
2	札幌市	市立札幌啓北商業高等学校	商業	29
3	福島県	福島県立小高産業技術高等学校	工業・商業	29
4	東京都	東京都立新宿山吹高等学校	情報	29
5	新潟県	新潟県立加茂農林高等学校	農業	29
6	新潟県	新潟県立新潟工業高等学校	工業	29
7	山梨県	山梨県立甲府工業高等学校	工業	29
8	三重県	三重県立相可高等学校	家庭	29
9	滋賀県	滋賀県立八幡商業高等学校	商業	29
10	愛媛県	愛媛県立宇和島水産高等学校	水産	29
11	宮崎県	宮崎県立高鍋農業高等学校	農業	29

キャリアビジョン実現プロジェクト

～生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力の獲得を目指した5年間の取組～

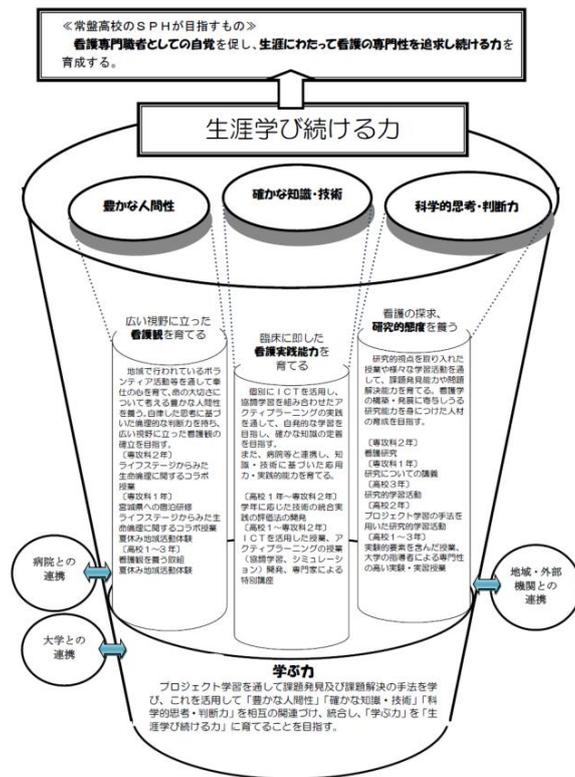
埼玉県立常盤高等学校看護専攻科2年 澤田みか 佐藤真衣

1. 事業の概要

本校は、5年一貫教育により看護師を養成する看護科単科の高校である。「豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成」を学校のミッションとして教育活動を展開しているが、これからの看護職は、医療技術の急速な発展や社会の変化への対応が求められることから、変化に柔軟に対応できる人材の育成を目指している。そこでSPHでは、「生涯学び続ける力」の育成を中心に据えて、社会の第一線で活躍し続ける専門的職業人を育成することを目指し、様々な取組を行ってきた。

「生涯学び続ける力」は、広い視野に立った看護観を育てることを目指した「豊かな人間性」、臨床に即した看護実践力を育てることを目指した「確かな知識・技術」、看護の探求、研究的態度を養うことを目指した「科学的思考・判断力」におけるそれぞれの取組で身につけた力を統合したものと位置づけている。その力が、変化する社会の中で新たな課題を発見し、自ら解決する力となり、「生涯学び続ける力」となるものと捉えている。

普通教科を含むすべての教員が研究メンバーとなって4つのチームを構成し、年に4回、全職員が参加して研究のチーム会を行い研究に取り組んでいる。



研究のイメージ図

2. 具体的・特徴的な実践内容

「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的な思考・判断力」を育てるための様々な活動があり、それぞれに育てたい力を設定している。これらを統合する力である「生涯学び続ける力」を育てるために、5年間を通して「プロジェクト学習」と「ポートフォリオの活用」を行ってきた。これらの活動を通して「生涯学び続ける力」の要素である「イメージする力」「課題発見力」「課題解決力」「コミュニケーション力」「プレゼンテーション力」の5つの力が身につくことを期待している。高校1年生から専攻科2年生までに段階的にこれらの力が身につくように、テーマを設定しプロジェクトを実施している。プロジェクト学習を通して、「事象からそこにある課題を見出し、情報をリサーチし、戦略的に課題を解決し、他者に提案する」という一連の思考活動を繰り返し行う事で、看護を实践するうえでの基礎的な力につながると考えている。

各学年で実施しているプロジェクト

学年	テーマ	対象	活動	概要
高1	避難所プロジェクト	社会 自分外(環境)	チーム	避難所のボランティアを行う場面を想定し、避難者の支援方法を提案する。
高1	ナイチンゲールプロジェクト	人間 自分内(心と体)	個人	家族の健康を守るために継続可能な対策を提案する。
高2	エビデンス探求プロジェクト	根拠 確かさと現実	チーム	体の動きや健康に関する通説が本当に正しいか、実験と文献の両面から検証する。
高3	夢をかなえようプロジェクト(キャリアビジョン実現プロジェクト)	経験 知識と現実の一致 = 最高の学び	個人	自分の強みを見つけ、キャリアストーリーを描く。
専1	ヘルスプロジェクト	生命 生への自己コントロール	チーム	疾病を抱えていても自らの健康をコントロールし、改善する方法を提案する。
専1、2年	キャリアビジョン実現プロジェクト	行動 動き出す	個人	進路実現に向けて活動する。

下の表は、「プロジェクト学習を通して身についた力」の自由記述アンケートから、身についたかを評価するため、プロジェクト学習が目指してる「5つの力」について記載されているものを抽出し分類したものである。高校1年生では、5つの力のキーワードをそのまま用いて記述したものが多く、専攻科1年生では、記述の内容が具体的になり、課題を発見し解決していくための行動や、思考のプロセスを表現した記述（表では、「情報を活用し思考する力」と示す）が多くみられるようになっている。プロジェクト学習で身についた力（育てたい力）の記述内容の変化（n=80）

高校1年生	イメージする力		専攻科1年生
イメージする力(24)			限られたもの(時間など)の中で、効果的に行う作業イメージ(6)
計画する力(4)	(72)	(29)	計画する力(2)
この先どのように行動するのか考える力(3)			「その人個人」をイメージして考えられることの範囲が広がった(1)
課題を発見する力(12)	情報 を 活用 する 力 (6)	課題 発見 力 (2)	情報収集・情報の選別など(16)
状況を判断し課題を発見する力(2)			常に疑問を持ち学習を深めていく姿勢(1)
課題を発見することが多くなった(2)			わからないこと、疑問な点を複数の文献を用いて調べること(2)
課題を解決す過程に悩むことができた(1)			その人に合った対策の提案の視点、個別性に合わせた考え(8)
課題を発見し解決できるようになった(3)	課題 解決 力 (36)	課題 解決 力 (9)	根拠を基に考える力(7)
	コミュニケーション力		具体的な提案(1)
考えを言葉にする力(39)	(36)	(58)	質問に対する対応力(8)
他者との意見交換し共有する力(4)	プレゼンテーション力		相談する力(2)
相手に分かりやすく伝える力(4)	(39)	(72)	発表を聞きながら、同時に考え、アドバイスする(1)
人前で話す力(8)			発表の力(2)
			どうしたら相手に伝わりやすいか考える力(8)
			相手に納得してもらえるような説明方法を考える力(2)

キャリアビジョン実現へ向けたポートフォリオの活用

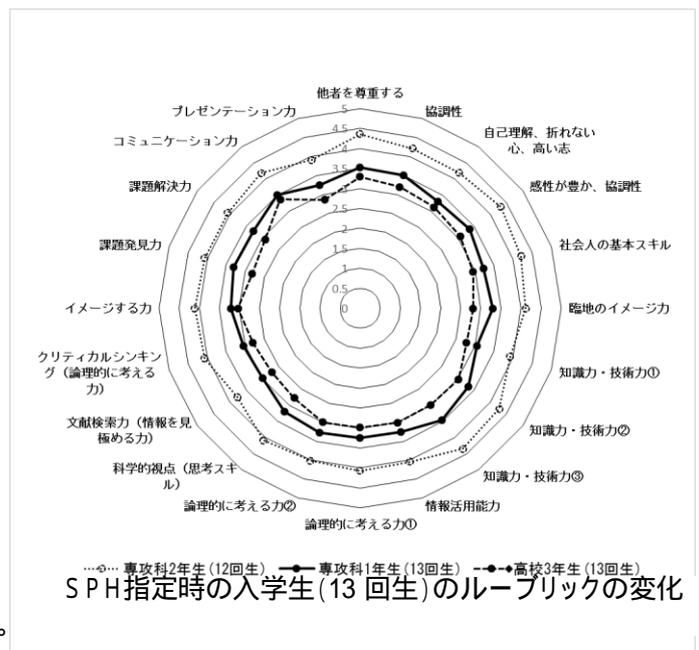
本校では、入学時にそれまで各自が歩んできた道を振り返り、「パーソナルポートフォリオ」を作成している。そして、それらをベースに、高校3年生では「夢をかなえようプロジェクト」において、将来の自分をイメージして「キャリアポートフォリオ」を作成している。「キャリアポートフォリオ」の作成を通して、将来の目標を見据え、その目標を達成するためにどのような力を身につけることが必要かリサーチし、自らの将来像を明確にすることを目指している。専攻科1年生では、専攻科修了後のキャリアをイメージし、目指す進路に向けて自ら行動する力を育成することを目指し、活動している。目標達成に向けたスモールステップを学校行事や病院等での臨地実習、就職活動などを見据えて考え、毎月振り返りながら、キャリア形成の意識づけをしている。

病院での採用試験の期日が早まる中で、この取組を早期に始めていたことにより、専攻科2年生のスタートとともにスムーズに就職活動を始めることができた。

3. 成果と改善の方向性 生徒の変容を評価する

「実習ループリック～SPHで身につく力～

SPHの活動による生徒の成長を客観的に評価するために、「臨地実習における行動」として「ありがたい像」を具体的に示した「実習ループリック」を作成している。生徒が自己の成長や行動変容を臨地実習における到達度として、客観的に適切に評価することを目指している。評価は、高校3年生、専攻科1年生、2年生の各学年の最後の実習終了時に自己と他者（引率教員）で行い、その後に生徒と引率教員が面談をし、実習における自己の行動を客観的に振り返るとともに、身についた力の確認や今後の課題について確認している。右のグラフには、SPH指定時の入学生の高校3年生と、専攻科1年生のループリック評価の変化を示した。



すべての項目の平均点が、対応のあるT検定において、高校3年生の時よりも専攻科1年生の点数が、有意水準1%で高くなっていた。専攻科2年生のデータは、昨年度の卒業生の平均点を予測値として示した。現在の専攻科2年生の実習終了時も評価が高くなることが予測される。

研究のイメージ図（平成 28 年度）

《常盤高校のSPHが目指すもの》

看護専門職者としての自覚を促し、生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力を育成する。

生涯学び続ける力

豊かな人間性

確かな知識・技術

科学的思考・判断力

広い視野に立った
看護観を育てる

地域で行われているボランティア活動等を通して奉仕の心を育て、命の大切さについて考える豊かな人間性を養う。自律した思考に基づいた倫理的な判断力を持ち、広い視野に立った看護観の確立を目指す。

〔専攻科2年〕
ライフステージからみた生命倫理に関するコラボ授業
〔専攻科1年〕
人間関係論によるコミュニケーション講座
生命倫理に関する授業
〔高校3～専1年〕
復興支援ボランティアスタディツアー
〔高校1～専1年〕
地域活動体験
倫理に関する授業
〔高校1年〕
SPH花壇整備活動

臨床に即した
看護実践能力を
育てる

個別にICTを活用し、協調学習を組み合わせたアクティブラーニングの実践を通して、自発的な学習を目指し、確かな知識の定着を目指す。
また、病院等と連携し、知識・技術に基づいた応用力・実践的能力を育てる。

〔高校1年～専攻科2年〕
学年に応じた技術の統合実践の評価法の開発
〔高校2～3年〕
専門家による特別授業
〔高校1～専攻科2年〕
ICTを活用した授業、アクティブラーニングの授業（協調学習、シミュレーション）開発

看護の探求、
研究的態度を養う

研究的視点を取り入れた授業や様々な学習活動を通して、課題発見能力や問題解決能力を育てる。看護学の構築・発展に寄与しうる研究能力を身につけた人材の育成を目指す。

〔専攻科2年〕
看護研究
〔専攻科1年〕
研究についての講義
〔高校3年〕
研究的学習活動
〔高校2年〕
プロジェクト学習の手法を用いた研究的学習活動
研究の基礎を学ぶ授業
実験の要素を含んだ授業
〔高校1年〕
実験の要素を含んだ授業
〔高校1～3年〕
大学の指導者による専門性の高い実験・実習授業

病院との
連携

大学との
連携

地域・外部
機関との
連携

学ぶ力

プロジェクト学習を通して課題発見及び課題解決の手法を学び、これを活用して「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」を相互の関連づけ、統合し、「学ぶ力」を「生涯学び続ける力」に育てることを目指す。

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成
 ~ 次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して ~

福岡県立福岡農業高等学校 都市園芸科3年 仲摩 千鶴
 専攻科2年 竹林 美貴

1. 事業の概要

本事業では、将来の農業及び農業関連産業に従事するプロフェッショナルを育成するものです。そのために、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身につけるための具体的な手立てを研究し、都市部と農村部をつなぎ、それぞれの地域の活性化につながる農業人材育成を目指すことを目的としています。将来の農業及び農業関連産業に従事するスペシャリストを育成するために、次に説明するようなフロンティア学習、マネジメント学習、スキルアップ学習の3つの研究を立ち上げました。そして、本科(高校)と専攻科の授業を中心に外部講師による講演を取り入れ、大学、行政、農家や企業との連携を学校全体として推進しています。

(1) フロンティア学習

関係機関と連携し、先端技術を導入した栽培実験・実習により、栽培管理に関する技術を理論的、体験的に学びます。

(2) マネジメント学習

現場実習や現地視察研修から、自立した農業経営に必要な実践的な経営感覚を身に付けます。

(3) スキルアップ学習

農業の6次産業化を推進するとともに、栽培技術の向上と付加価値を高めるための技術や能力を実践的に学びます。また、実用的な資格取得において生徒の希望進路を実現するために基礎的な知識・技術を学習し、高度な資格取得に挑戦します。



第1図 研究イメージ

2. 具体的・特徴的な実践内容

(1) フロンティア学習

九州沖縄農業研究センターや地元の農業参入企業等を中心に視察研修、国際次世代農業E X P O見学や学会への参加を実施し、先端的な栽培方法と研究について学習できました。また、年間5回の専攻科特別講義による本科との交流では、専攻科の学生がティーチングアシスタント(以下、T A)として高校生に技術指導を行うことで、自身の考えを相手にしっかりと伝える表現力とチームワークが身につきました。

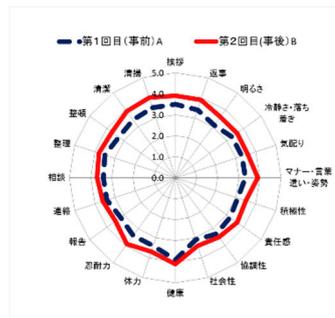
学生の事前の感想では「容易に技術指導ができる。」と述べていましたが、特別講義後は「高校生に理解してもらえるよう考えて進めたが、なかなか上手く伝わらず、教える難しさを感じました。そんなときに、ペアの学生がフォローしてくれたので大変助かりました。」と述べており、伝える難しさとチームの大切さを学びました。

(2) マネジメント学習

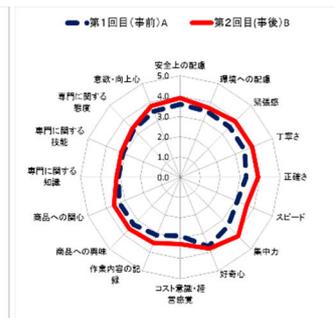
先進農家やグローバルG A P取得企業の視察研修、県外農業高校生との交流、プラクティカルトレーニングや海外農業研修を実施し、農業経営に必要な実践的な経営感覚について身につけることができました。プラクティカルトレーニングにおいては年間2回実施し、生徒が課題をもって挑戦し、1回目終了後には教師と面談を行って課題を明らかにするとともに、生徒を支援しながら2回目の実施に臨むことができました。

次は、平成29年度に実施したプラクティカルトレーニングの事前、事後の本科生徒の変容の様子です。

社会が求める基礎力では、「マナー・言葉遣い」「清掃」「忍耐」が、専門に関する基礎力では「安全上の配慮」「集中力」「正確さ」で特にポイントが上昇しました。生徒の事前の目標として「人より行動が遅いので、プラクティカルトレーニングでは早く仕事ができるように考えて動くことと、雑にならないように集中力をつける。」を掲げていましたが、生徒が課題意識をもって臨むことで、主体的に練習に取り組むことができたと考えられます。



第2図 社会が求める基礎力



第3図 専門に関する基礎力

(3) スキルアップ学習

外部講師による特別授業、農業法人設立の疑似体験、販売会の運営、学校設定科目「食農マネジメント」における「食の6次産業化プロデューサーレベル1」取得・認定と「生産工程管理」における「GAP」と「福岡ECO農産物認証」の学習について実施し、農産物の付加価値を高めるための方法を実践的に学びました。

また、自身の希望進路を実現するために、基礎的な知識・技術を学習し、「日本農業技術検定2・3級」「フラワー装飾技能士3級」「食の6次産業化プロデューサーレベル2」「毒物劇物取扱責任者」「英語検定」「YCT検定」など、高度な資格取得にチャレンジしています。

生徒の感想では「常に利益を上げることは難しいため、付加価値や特徴、他と違うアイデアを出せるようになりたい。」「しっかり事業内容を提示し、事業計画を立てるようにならない限り起業できない。」「自分が目指す進路を決めるために一つでも多くの資格を取りたい。」と書いており、この学習を通して、生徒・学生の意識の変化が見られるようになりました。

3. 成果と改善の方向性

(1) 成果

都市園芸科と専攻科の5年間の研究体制づくりの一環として、生徒が専攻科での特別講義と実験実習を受講することにより、専門性の高い知識や先端技術を学ぶことができました。さらに、専攻科の学生がTAとして実技指導を行うことで学生自身のスキルアップにつながりました。

農業の最先端の知識・技術を研修し、幅広い分野での農業の可能性を認識でき、植物工場での生産や食の6次産業化への取組などの農業基盤がなくても農業に取り組める都市型農業の可能性を学ぶことができました。

生徒は、農業に対する興味・関心が高まり、専門科目に意欲的に取り組む意識が向上し、農業関連産業への就職や農学系上級学校へ進学が増えました。平成27年度の農業関係への就職・進学は26.7%でしたが、平成29年度では33.3%、今年度は50.0%が農業関係へ進む予定です。

プラクティカルトレーニングを年2回実施することで、課題と目的を明確にして取り組むことができ、課題解決能力を身につけることができました。また、仕事の厳しさやコストを意識した生産を学ぶなど経営に必要な意識を身につけることができました。

学会への参加と海外農業研修の実施により、アジアやアフリカで進められている農業の研究や農産物流通について学ぶことができました。この取組により国際的な視野を広げるとともに、参加後の英語や第二外国語の授業への姿勢の変化や、就職進学に生かしたいという強い意識が表れてきました。

(2) 課題

本科と専攻科の5年間の教育体制づくりには、相互の教育課程や時制に課題があり、今後スムーズな連携を進めるための授業時間、関係科目や曜日設定等の調整が必要です。

5年間の取組から継続する事業を整理し、関係機関との連携を深めて地域の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

平成28年度 福岡県立福岡農業高等学校
スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業概要

都市園芸に関する専門的な技能と経営感覚を
身につけたアグリスペシャリストの育成

農業及び農業関連産業のプロフェッショナル育成

栽培管理と施設
管理に関する先
端的な技術及び
技能を習得し、
活用できる人材

都市型農業を経
営するために実
践的な経営感覚
をもった人材

消費者に対し、
商品情報を発信
したり、ニーズ
の分析や商品価
値を高める能力
を持った人材

フロンティア
学習

マネジメント
学習

スキルアップ
学習

専攻科・本科
講義聴講
共同研究

専攻科・本科 プラクティカルトレーニング
本科 外部講師による特別授業

関係機関と連携し、先
端技術を導入した栽
培実験・実習により、
栽培管理に関する技
術を体験的、理論的
に学ぶ。

現場実習や現地視察
研修から、自立した農
業経営に必要な実践
的経営感覚を身につ
ける。

農業の6次産業化を推
進するために資格取得
や栽培技術の向上と付
加価値を高めるための
技術や能力を実践的に
学ぶ。

専攻科・本科連携
専攻科・大学連携

農業生産者・企業と
の連携

社会人講師の活用
学校設定科目の実施

高度な栽培
技術の習得

実践的な
経営能力の習得

コミュニケーション能力の習得
食の6次産業化プロデューサー

他の農業学科への成果の普及(カリキュラム開発)
普通高校・総合学科への成果の普及(ものづくりの支援)
小・中学校に対する支援(農業体験学習の指導)

カリキュラム開発

連携・協力



九州大学

九州沖縄農業研究センター

最先端の栽培管理技
術指導
特色ある教育課程の
研究
共同調査・研究の助言

研究成果物の商品化、
販売会共同実施



農業生産者

福岡県農政部

J A

直売所

関係企業

栽培に関する管理技
術の指導と経営戦略
指導及び助言

栽培・インターンシッ
プに係る調査・研究指導
及び助言

共同栽培研究、
販売実習

